

JRFU倫理及び処分規程に基づく処分処分

■2022年度：4件

処分決定日	違反事案	事案内容（処分対象者）	処分内容
2022年5月20日	違法薬物（大麻等違法薬物）	違法薬物所持（登録選手）	無期の出場停止
2022年8月17日	その他の各種法令違反	契約上の守秘義務違反（日本協会元役員）	けん責
2022年12月21日	暴力行為	選手（中学生）への暴行（登録指導者）	156週間（3年間）の登録資格停止
2023年3月15日	遵守事項違反、不適切な監督	飲食店におけるトラブル（登録選手、スタッフ）	けん責

■2023年度：2件（2023年5月時点）

処分決定日	違反事案	事案内容（処分対象者）	処分内容
2023年4月12日	暴力行為	選手（中学生）への暴行（登録指導者）	無期の出場停止
2023年5月10日	暴力行為、ハラスメント等	選手（大学生）への暴行等（登録指導者）	104週間（2年間）の登録資格停止

【2023年4月の事案概要】

2022年11月、処分対象者がグラウンドにおいて中学生2名に対し暴行（殴打等）を行い、うち1名が肋骨骨折の傷害を負った。本件は刑事事件となり傷害罪として罰金が科された。

また、チームは新人大会への参加を棄権するなど、チーム活動にも重大な影響を及ぼした。

JRFUからの参考情報

1. 日本ラグビーフットボール協会 「インテグリティ相談窓口」

https://www.rugby-japan.jp/support_center

<インテグリティ相談窓口について>

- ・ラグビーにおける暴力行為等に関する相談に対応いたします。
- ・暴力行為等に関する相談に対し、外部弁護士が対応します。
- ・暴力行為等が明らかになった場合は、必要な対応（指導・処分等）を行います。

2. 日本ラグビーフットボール協会 「インテグリティ追求/相談窓口」

<https://www.rugby-japan.jp/jrfu/integrity>

3. 日本ラグビーフットボール協会「倫理及び処分規程」

https://rugby-japan.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/file/html/147509_61528028303ec.pdf

4. その他の参考情報は、次ページ以降参照

【参考資料】JRFU「セーフゲーディング」

【通達】「セーフゲーディング」の取り組みについて（2022年12月7日）

<https://www.rugby-japan.jp/news/51695>

日本ラグビーフットボール協会に登録しているすべてのチームに対し、チーム内のセーフゲーディング対応のために必要な体制、プロセス等の整備をお願いします。前述のように、セーフゲーディングは子どもたちを守るためだけのものではなく、チーム内でのハラスメント・虐待・いじめ・差別の発生を防ぐことと、発生した場合に適切に対応することを目的としています。その観点より、以下の3点への取り組みをお願いします。

- セーフゲーディングに取り組む責任者の任命/チームとしてのルール作り
- 問題発生に対応する相談窓口や解決の手段の提供
- 問題発生の未然防止/再発防止のための研修の実施

管理

- セーフゲーディング推進の仕組みづくり
- 現状モニタリング/評価

相談窓口/事案対応

- 相談窓口の提供
- 事案への対応の体制


研修

- チーム管理者向け研修
- チーム内向け研修

【参考資料】WR Eラーニング「子どものコーチング」

ワールドラグビーが提供している指導者向けのEラーニング

<https://passport.world.rugby/ja/%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%81%E3%83%B3%E3%82%B0/%E5%AD%90%E3%81%A9%E3%82%82%E3%81%AE%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%81%E3%83%B3%E3%82%B0/>

WORLD RUGBY PASSPORT コーチング > 特定項目 (ストランド) > WORLD RUGBY 日本語 (ja) 

子どものコーチング

ワールドラグビー・バリュー

子どものコーチングー基本編

ワールドラグビーLTPD (長期的プレーヤー強化) モデル

実践

参考文献

その他の参考文献


子どものコーチング

優れたコーチは、プレーヤーの技術、戦術、精神、動き、フィジカル、ライフスタイルにおける能力を伸ばすことができるはずです。この教材は、そういったことができるようになるためのガイダンスを提供するものです。

幼い子どもたちにラグビーを教え、彼らのスキルを伸ばすことは、どんなコーチ、教師、そして、親（保護者）にとっても非常に満足度の高い体験になるでしょう。すべての子どもたちが、安全で安心できる環境の中で自分の可能性を最大限に発揮できるよう、適切な学びの環境を整えることは非常に重要です。若年層のプレーヤーは、ラグビーの未来を守ってくれる存在であり、ラグビーの伝統を受け継ぐ次世代のプレーヤー、ファン、スタッフ、あるいはボランティアの世代となります。

そのため、ラグビーにおいてだけプレーヤーを育成するだけでなく、ラグビーを通じての育成しようとするのが極めて重要です。つまり、コーチングに包括的なアプローチを取り入れることで、より優れたラグビープレーヤーを育成するだけでなく、より優れた人間を育てることができるのです。

次へ »



【参考資料】ラグビー憲章で掲げる5つのコアバリュー

日本ラグビーフットボール協会のHPに、ラグビー憲章を紹介・説明するページを開設。
動画も参照ください。

<https://www.rugby-japan.jp/future/corevalues>



はじめに
～ラグビーの「5つのコアバリュー」考える～

5つのコアバリューとは？

まとめ

はじめに
～ラグビーの「5つのコアバリュー」考える～

ラグビーの5つのコアバリュー



【動画リンク】

<https://www.rugby-japan.jp/future/corevalues#corevalue-pv>



【参考】インテグリティ追求に対して問題となる15の行動＝コンプライアンス違反

- ① 違法薬物（大麻等違法薬物）
- ② ドーピング、パラ・ドーピング
- ③ 暴力行為（飲酒を伴う不行跡等）
- ④ ハラスメント（パワハラ、セクハラ、アルハラ、モラハラ等）
- ⑤ 違法賭博（違法カジノ等）
- ⑥ 反社会的勢力との関わり
- ⑦ 差別（人種差別、性差別等）
- ⑧ 試合結果の不正操作
- ⑨ SNSの不用意/不適切な利用
- ⑩ 不適切な経理処理
- ⑪ 私的な利益追求（横領等）
- ⑫ 交通違反（飲酒運転等）
- ⑬ 性犯罪
- ⑭ その他の各種法令違反
- ⑮ ラグビーの価値を下げるすべての行動